

# 私の視察したる歐米の幼稚園教育

(フランス)

堀 七 藏

私がフランスに行つたのは六月と十一月の二度であります。何れもほんの通り過ぎたといふ位であります。殊に六月上旬には英國に行く途中二日間マルセイユに上陸したばかりであります。十一月には瑞西のジュネーブからフランスのリヨンに出てパリに二週間ばかり滞在し十一月二十日にパリからカレの港に出て英國に歸つたのであります。こんな譯でありますからフランスの幼稚園教育は十分視察することが出来なかつたことは勿論であります。それにフランスではフランス語が殆ど出来ない關係から全く聞き學問は皆無であります。僅かに視た二三の事實から察する程度に止まることは止むを得ないと思ひます。それにフランスの幼稚園教育方面は從來比較的良好よく我が國にも紹介せられてゐると思ひますから茲にフランスに關する所感を述べる積であります。

マルセールで始めてヨーロッパの地を踏んだときの第一印象はフランス女の活動であります。マルセールのマーケットを午前中見たときは質素な服装を纏つた女、メイドであるか主婦であるか、新参の吾々には全く見分けがつかなくなつたが、悉くかごや袋などを持つて買出しに來てゐる勤務振に感心したのであります。臺所口から御用聞に注文をしてゐる主婦や女中と全く類を異にしてゐるに驚きましたことは事實であります。「フランス女は華美であるなどとは全く嘘である」と異口同音に五六人が一致した感じでありました。

更に晝食時レストランに入つて驚きましたのは四十すぎとも見える婦人が四五歳の女兒を連れて隣のテーブルで晝食をしてゐます。吾等の好奇心はこの親子二人の女に注がれたのであります。驚くべきことにはその母親が盛にワインをのんでゐるのみならず、女兒もお茶同様にワインをのんでゐることです。尤も凡てのレストランの定食には必ず半リットル位のワインが附物であるからであります。日本でお茶のみサイダーなどをのむところにフランス國産のワインをのむのであります。これは後になつてパリでも経験した所であり、多くの人々がいふ所でもあります。獨逸でビールを婦人も子供ものむが如く、フランスではワインをのむのであります。師範學校の寄宿舎で晝食の飲料がワインである事實から推測してもワインはフランスの國民的飲料であります。その爲かどうか知りませんが、フランス

人は一般に敏捷であり怒り易いがまたさめ易いのであります。フランスの國民性が英國とも獨逸とも著しく相違してゐることは一寸フランスに入つただけでも明白に分るのであります。これは恐らくフランスの自然が然らしめる所でありませう。フランスはヨーロッパ諸國に比べて天候が誠に良好で一切が陽氣であります。試に緯度を調べるとパリが北緯四十八度五十分、リヨンが四十五度四十一分、ボルドーが北緯四十四度五十分マルセルでも四十三度 あります。我が國では北海道の札幌が北緯四十三度でありますからフランス國はあげてわが札幌以北と考へてよいのでありませう。しかし氣溫は驚くべき程溫暖であります。これは主としてアフリカ熱風の影響を受けるものでありませうが兎に角、次に示す一ケ年の氣溫表を比較すると成程と首肯する點が多くありませう。参考のため札幌の氣溫をも採録いたしませう。

	パリ	ボルドー	リヨン	マルセル	札幌
一月	二、三	四、八	一、五	六、三	零下六、四
二月	三、六	六、一	三、四	七、四	零下五、三
三月	五、九	八、三	六、二	九、二	零下二、七
四月	九、九	一一、七	一〇、五	一二、六	五、四
五月	一三、〇	一四、六	一四、〇	一六、一	一〇、四

六月	一六、五	一八、〇	一七、七	一九、八	一四、八
七月	一八、三	二〇、一	二〇、一	二二、三	一九、一
八月	一七、七	二〇、一	一九、四	二一、七	二〇、九
九月	一四、七	一七、六	一六、二	一八、九	一六、二
十月	一〇、一	一二、九	一一、〇	一四、五	九、六
十一月	五、八	八、二	五、七	九、九	三、〇
十二月	二、七	五、一	一、七	六、七	零下三、二
全年	一〇、一	一二、三	一〇、六	一三、八	六、九

札幌よりも北にあるバリでもポルドーでもまたリヨンでも冬は遙かに札幌よりも温暖でありませう。それで夏が比較的熱くないことが注目すべき点であります。かく一年中氣候温和で陽氣でありますからヨーロッパ各國人が冬は避寒に夏は避暑遊山といふ工合にフランスに入込み、フランスで享樂することは大抵想像がつくのであります。況んやフランスで生活するフランス國民が快活で陽氣であることもまた一般に享樂氣分の漲つてゐることも單にワインの飲用量の多い結果のみでもないかも知れません。

### 三

マルセールで第三の印象は正午すぎよりレストランに出入する男女の甚だ多いことでありませう。殊に

フランスの若い女達がオフィスから出てレストランやカツプエーに入るものが甚だ多く、夜を徹してダンスなどで活動した女達が午后になつてそろ／＼お化粧をして出て来る向も甚だ多いことは如何にフランスが享樂主義個人主義の旺盛なるかを想像させるに十分であります。十一月にパリに出た時は季節も漸く冬に入る有様で左程遊蕩氣分を目前にすることも少なかつたが、それでも英國よりも獨逸よりも何といつてもパリであるなといふ氣分はたつぷり溢れてゐます。勿論フランスといつても國をあげての話ではないのであります。フランス農村の家庭には質素な所が多く、健實味がたつぷりであります。マルセルやパリを以てフランス全國を想像することは早計でありますがしかし何といつてもフランスは衰微に向つて坂を下りつゝあるのは事實であります。文明の絶頂から既に衰微の坂を下りつゝあることは誰も否定出来ません。従つてフランス國の前途を懸念する爲政治家は非常に苦心する所があるのです。

## 四

近來フランスは出産率が著しく減退し人口の増加率が甚だ小となつたのであります。増加どころか或は減少するといふ有様であります。質の良好も誠に重要でありますが、フランスは國民の質といふ問題よりも量の減少を如何に防止せんかに苦心してゐる現状であります。試に世界各國の人口一年平均増加率を見ると次の如くであります。この表は人口一千についての數でありますがフランスとベルギーとは

減少の數を示すものであることを附加せねばなりません。

デンマーク	一八、五	オランダ	一五、六
北米合衆國	一五、三	日 本(内地)	一三、五
ノルウェー	一二、四	スウェーデン	六、九
イタリー	六、八	ドイツ	五、七
イギリス(愛蘭を除く)	四、七	瑞 西	三、五
ベルギー	△ 〇、三	フランス	△ 四、三

この統計は一九一一年より一九二一年までの十年間の平均でありますからドイツとフランスとは特別の事情にあります。丁度歐洲大戰を含んだ十ヶ年間の統計で、大戰によつて兩國共に多數の壯丁を失つてゐます。フランスの如きは百五十萬の壯丁を失つたといふことであります。獨逸は大戰によりアルサスローレンなどを失つて、壯丁の減少に加へて更にその地方の住民を失つた結果になるから人口増加率の貧弱なことは蓋し止むを得ない所であります。フランスはアルサスローレンを得て國民の増加を來した筈にもかかわらず、著しく減少してゐることを示すのは確かに出生率の減少が甚だしいことを物語るものでありませう。更に大正十二年又は十三年に於ける出生率を見ませう。我が國は大正九年に三六、一九の高率を示しその後減少の傾向を示してゐますが、大正十四年には三四、九二を示してゐることを

豫め御承知を願ひます。それに比べるとヨーロッパ諸國は何れも遙かに低率でありますが殊にフランスは甚だしいのであります。

スペイン	二九、九(大正十三年)	イタリー	二九、一(大正十二年)
ハンガリー	二六、三(大正十三年)	オランダ	二四、九(大正十三年)
オーストリヤ	二二、三(大正十二年)	アイルランド	二二、二(大正十三年)
スコットランド	二一、九(大正十三年)	デンマーク	二一、九(大正十三年)
ノルウェー	二一、七(大正十三年)	ベルギー	二〇、七(大正十二年)
ドイツ	二〇、四(大正十三年)	スウイス	一九、四(大正十三年)
フランス	一九、〇(大正十三年)	イングランド	一八、九(大正十三年)
スウェーデン	一八、二(大正十三年)	ウエールズ	

であります。歐洲大戰は各國の出生率に非常な影響を與へてゐます。殊に交戦國は甚だしく、戦前に於て二四以上であつたイギリスは最低一九を示し、二七以上であつたドイツが最低一四に、三〇以上のイタリーが最低一八となつたのであります。フランスは一増甚だしく戦前一八以上であつたフランスは最低一〇となつた位であります。かく出生率が減少し人口の自然増加率が貧弱となつたのでフランスの爲政家は非常に憂慮して國民増加のためいろいろの工夫を講じてゐます。

人口増加の爲に執る政策は出生率の向上であります。これは母性愛を高潮するより外ないのであります。全國民を風靡する個人の安逸、夫婦享樂に對抗するものは母性愛より有力なものがない。この母性愛を涵養するには女子教育に於て育兒や保育の實際を理解せしめ子女を愛育する心情を培養することが最も有効でありませう。かゝる根本精神を以てフランスの女學校には幼稚園があり小學校が附屬してゐるのであります。更にフランスでは人口増加の爲に執る政策として第一に貧民などの出産前後に大に保護する。産科院に收容して出産せしめ、産れて後には牛乳を給する制度があります。また育することが出来ないものは市または國家が負担するのであります。パリ市廳には番號札のついた子供籠があります。養育することの出来ない子供をその籠の中に入れて合札を持つて歸るとよいのであります。所謂棄兒籠であります。するとその兒はパリ市の小兒病院に收容せられて養育せられる。そして一週一回又は一ヶ月に二回の面會日があるから合札の番號によつてわが兒に面會出来るといふ工夫になつてゐます。こんなに棄兒を奨勵するやうであります。貧民が無理な保育をするよりも市から適切な養育をなすことは甚だ肝要であるからでありませう。それでフランスでは國家が乳幼兒を養育し更に尼さんが幼兒を保育しまた保育學校も幼稚園もよく發達普及して幼兒の教育に十分努力してゐるのであります。

尙ほフランスでは人口増加の政策として子供の多いものには所得税の率を著しく低減してゐます。尙ほ多くの子供を入學させると學校に於て著しく授業料を減額するのであります。我が國の如く家族制度

の國では等の方策を講ずることは當然であります。フランスの如く夫婦本位の家庭でかゝる政策を實行することは寧ろ余分のことでありませう。それにもかかはらず人口増加の政策として實施してゐるのはよく／＼のことであるからでありませう。

## 五

日本大使館の紹介状を持つて單身大使館から程遠からぬリセーを參觀に出かけました。リセーは佛國の國立中學校で十一歳より七ヶ年の教育をなす所であります。しかし準備として六歳より十一歳までの小學校生徒を收容してゐる所も少なくありません。私の參觀した學校などはそれでありませう。尤も女子の中等學校であるから五年程度であります。幼稚園も小學校もあり至極立派な學校であります。

應接室には婦人と子供との大きな大理石彫刻があつて、成程フランスの女學校だといふ感がふかひのであります。こんな立派な大理石彫刻があるのはフランスならでは見られぬ所。しかも母性愛を高潮するためには格好な彫刻であります。更に壁には佛國の大家モンテニウ、バストウール、ヴィクトル・ユーゴー、バスカル、デカルト等の肖像が如何にも計劃的に額となつて掲げてあります。また廊下には世界の名畫(ルーブル博物館のものが多くが)適當に掲げてあります。凡て教室は明るく開放的でしかもアルコニー式の廊下になつてゐることは英獨などとは著しい相違であります。生徒も至極快活で陽氣であります。最初に參觀したのが小學校一年生。一組四十人の男女、机は五人掛けで腰掛は籐椅子であり

ます。計數器や掛圖などがあることは我が國の小學校と大差がありません。それから女學校生徒の物理教授を參觀した後幼稚園を參觀すると男兒だけの組で三十人、保姆は一人の助手を使つて先づ遊戯をさせました。ピアノを弾くと幼兒は手を打ちつゝリズムに合せて歩むのであります。至極簡單なもので我が國幼稚園の遊戯の如く大人が工夫に工夫をした手のこんだ技巧的なものではありません。極めて幼兒らしく簡單なものであります。この遊戯が五分間位ですむと作業になります。書をかくもの、縫ふもの等いろいろで自由であります。この學校は午前には九時より十一半まで授業があつて、午後には一時半より四時まで授業を行ふのでありますから晝食休が二時間あります。この時凡ての生徒は歸宅して晝食をとるのでありますから午后はクルシー通のリセーを參觀に出かけました。

丁度クルシー通に行くとき晝食に歸宅した女生徒が集つて來るからどこが學校か、直ぐに見當がつきます。入口は實に堂々たる新築校舎であります。一時二十分にベルが鳴ると生徒は皆廊下で整列して教室に入ります。先づ幼稚園を參觀すると幼稚園は一組で矢張三十人。助手なしで一人の保姆が保育してゐます。保育室と附屬室、それに戸棚、腰掛け、壁黒板、ピアノ等誠によく設備してあります。壁には朝顔の模様が裝飾となつて明るい氣分が湛つてゐます。大きな兒は文字の練習をなし小さな兒は繪をかき積木遊びをしてゐます。この幼稚園は誠によい幼稚園であります。更にリセーを參觀したいと申込んだが駄目であります、リセーは國立であるから日本大使館の紹介だけでは參觀出來ない。リセーを監督す

るのがソルボン大學の總長であるかちその許可を受けないと參觀出来ないであります。

成程フランスでは小學校が六歳より十三歳まで義務教育であります。それが九歳までを初等科として道徳・公民・讀書・算術・習字・圖畫・唱歌を主とし地理歴史を附加して教育するのであります。それから十一歳までを中等科として手工・理科・農業・園藝が加へられ、それから上が高等科であります。小學校卒業認定試験に合格すれば何時でも義務教育が終はるといつた制度であります。所が中等學校は國立でリセーがあり、地方立でカレツヂがある外に私立學校も少くないのであります。そして國立のリセーは我が國の如く文部省が監督するのではなく、大學が統括してゐるのであります。それといふのは全國を幾つかの大學區に分ち之に大學があり、リセーがあるので、明治の初年我が國で採用した教育制度はフランスのものを模倣したものであつたのであります。我が國では今日著しく變化してゐますがフランスでは依然もとの制度によつてゐますからバリのリセーを參觀するにはソルボン大學總長の許可を得ねばならぬことになつてゐます。

兎に角フランスの教育で面白いのは女子のリセーに小學校や幼稚園が附屬してゐることです。

我が國の師範學校で附屬小學校があるのは教授實習のためであります。幼稚園を附屬させてゐる女子師範學校が少い位であります。幼稚園を小學校に附屬させてゐるのは教育施設上からの便宜でありませう。然るにフランスの女子のリセーで幼稚園を附屬させてゐるのは勿論教授方法の練習のためではありません。

ん。小學校を準備として附屬させとゐるのとも多少異なる點がありませう。女學校生徒をして子供を可愛がる子供を教育する趣味と實際的能力とを得させる爲でありませう。女子の職業としても幼稚園保姆小學校教師が最もその適する所であり更に家庭の母となつては育児の方法を理解することは割烹や裁縫よりも一層重要でありませう。殊に教育を受ける程結婚を厭ひ母性愛を欠き育児を輕視するの弊を生じ易いから女學校時代に於てかゝることのないやうに特に注意を拂つた施設でありませう。

## 六 セーブルの女子高等師範學校

パリの郊外セーブルにフランスに一校しかない女子高等師範學校があります。この女子高等師範學校は會つてキュリー夫人、ラヂウムの發見者で有名なキュリー夫人が奉職してゐた所であります。セーブルの町通を一寸左に入つた所に高臺を脊にして宏大な四層の建物があり地下室を加へると五階建、前面の高臺はサンクロアの公園、右方にセーブルの陶磁器會社の煙突を通してパリのエツフェル塔が見えるといふ閑靜な場所にあります。

セーブルの女子高等師範學校長はミス・アミュといふ溫情に満ちた婦人、早速先頭に立つて案内せられる。高等師範學校の學生は百名内外であるが、附屬學校は幼稚園から小學校高等女學校とあります。幼稚園は幼児が四十人、保育室にはいろいろの玩具や積木があり、直に庭に出ることが出来るやうになつてゐます。今しも幼児は多く庭に出て遊んでゐます。庭は廣くはないが砂場があり、花壇がありして四十人

の幼児が自由に危険なく遊ぶにも都合よく出来てゐます。全く理想的な幼稚園といふべきものでありませう。小學校は四組、その一組では生徒の研究したものが多く陳列してあります。英國のダルトン案實施の學校などが遠く及ばない位に生徒が自學し研究してゐます。さすが附屬小學校や幼稚園であると感服したのであります。尙ほ附屬の女學校、女子高等師範學校をも參觀したので参考となることが多かつたがこゝでは省略することにいたしました。

しかしこのセーブルの學校も同様であるがフランスの學校は木曜日に休むから一週二回の休日があります。その代り土曜日は他の曜日と同じく終日授業があるのは獨逸や英國などと異なる點であります。英國の學校は土曜日と日曜日とが休日で、水曜日の午後が多く運動日になつて居ります。平日は午前九時始業で晝食休が二時間あり、午後三時半か四時に終業するのであります。所が獨逸は毎日午前八時始業で午後一時終業でありますのと一週間六日間は授業があります。それ／＼國情によつて異なるのは勿論であります。我が國などは只外國の眞似をせず相當考量して出来るだけ休日を統一する方がよいかも知れません。學校會社と普通の商店と休日の大に異なることも教育上不便が少くないのであります。